

自転車損害賠償責任保険等に参加しましょう

令和2年7月1日から、自転車を利用する方の「自転車損害賠償責任保険等」(*)への加入が義務付けられました。

県内でも、自転車の加害事故が多く発生し、重傷事故も発生しています。全国的には、数千万円に及ぶ高額な損害賠償事例が多く発生しています。保険等に参加していなければ解決できない実態です。

高額賠償事例

賠償命令額 **9,521万円**

自転車に乗った男子小学生が歩行中の女性と衝突。女性は頭部を骨折し、意識が戻らない状態となった。監督責任を問われた母親に損害賠償を命じた。



「安全・安心」のため**万が一**に備えましょう。

※「自転車損害賠償責任保険等」とは…自転車利用中の交通事故により、相手の生命、身体への被害に係る損害を賠償することができる保険又は共済のことをいい、様々な種類があります。



まずは、いずれかの保険等に加入しているか確認しましょう

- 自転車保険
- (任意)自動車保険(特約)
- 火災保険(特約)
- 傷害保険(特約)
- 賠償責任共済
- 各種共済(特約)
- 会社等の団体保険
- クレジットカードの付帯保険
- TSマーク付帯保険 (自転車販売店で点検・整備を受けた**自転車の車体に対し**、傷害保険と賠償責任保険が付帯されます。有効期間は点検日から1年間です。)

「特約」には、日常生活で発生した賠償責任を補償するものがあり、1人の契約で、家族全員が補償される保険等もあります。ご家族の保険等も確認してみてください。特約を付帯しているかわからない場合は、加入先にご確認ください。

(注) 全てに有効期間がありますので、更新も忘れずにしましょう。



TSマーク

■お問い合わせ

山形県 消費生活・地域安全課 ☎ 023-630-2682

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

高齢者のみなさんへ

自転車の「安全・安心」な利用のために



「山形県自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例」を制定

近年、自転車事故による被害や高額賠償事例が注目され、社会的な問題となっています。本県は全国トップクラスの自転車保有県ですが、自転車損害賠償責任保険等の加入率は全国ワースト2位と低い状況です。

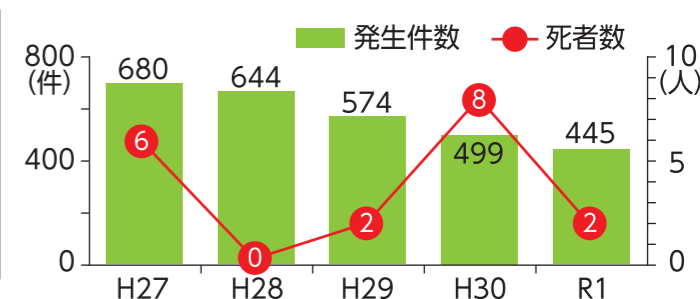
県では、自転車事故の無い「安全・安心」に暮らすことができる社会を実現するために、この条例を制定しました。[令和元年12月施行]

自転車についての本県の状況

1世帯当たりの平均保有台数	1.53台(全国2位)
自転車保有世帯の割合	77.9%(全国3位)
自転車保険への加入率	21.9%(全国ワースト2位)

(平成30年度 自転車産業振興協会調べ)

県内の自転車事故の発生状況



自転車の交通ルールやマナーを守っていますか？

交通事故は、**遭わない、起こさないことが1番大切!**

自転車は車両です。交通ルールやマナーを守って、安全運転を心がけてください。

車道は左側走行が原則

70歳以上の方は歩道の通行可

夕暮れ時から、早めのライト点灯 + 夜光反射材の活用

一時不停止や信号無視はしない

飲酒運転、傘差しなどの「ながら運転」は禁止

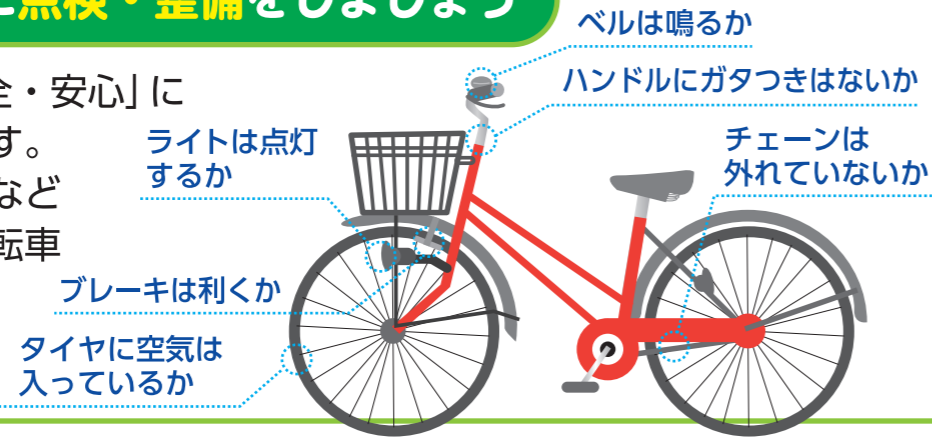
道路の積雪や凍結時は、利用を控える



山形県

自転車も定期的に点検・整備をしましょう

車と同じように「安全・安心」に利用することが大切です。定期的に自転車販売店などで点検・整備をした自転車に乗りましょう。



自転車はしっかり管理しましょう

自転車は施錠し、放置せず、しっかり管理しましょう。利用しなくなった自転車は適正に処分しましょう。



加齢による身体機能の変化にご注意を！

みなさんは、自転車に乗っていて、ヒヤリとした経験はありませんか？加齢による身体的な変化は、誰にでも起こり得ることです。



目の変化

視力の低下・視野が狭くなる

⇒安全確認は、目線だけではなく、顔全体で左右を確認しましょう。

体の変化

バランス感覚や運動神経の低下・筋力の低下

⇒あわてず、ゆとりを持って行動しましょう。

⇒自転車の前カゴには、荷物を載せすぎないようにしましょう。

×たかが自転車だから大丈夫？(自転車も車両で、車の仲間です。)

車とぶつければ、自分がケガをします!! 人とぶつければ、相手にケガをさせます!!

電動アシスト自転車の注意点

便利に使ってほしいから

電動アシスト自転車は、ペダルを弱い力でこいでも走行できる大変便利な自転車です。

●電源を入れるときは、両手ハンドル・両足地面

ペダルに足を乗せたまま電源を入れると、ペダルの踏み込みを感知してモーターが作動し、自転車が飛び出すことがあります。

●急にペダルを踏みこまない

●車体が重いため、早めのブレーキを!!

両足を地面につけて電源 ON!



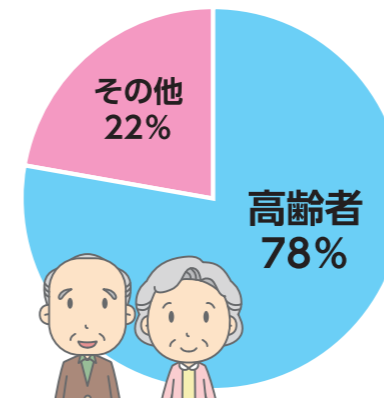
大切な命を守る「ヘルメット」を着用しましょう

県内における過去5年の自転車乗車中の交通事故をみると、死者の**約8割**が「**高齢者**」死亡原因の**約6割**が「**頭部**」の負傷です。

自転車被害事故における死者数の割合

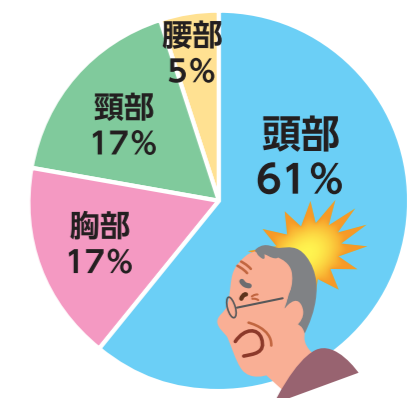
(過去5年) 令和2年 山形県警察本部調べ

小学生・中学生・高校生・大学生 0%



「どこを負傷すると危険ですか？」自転車被害事故における死者の負傷部位

(過去5年) 令和2年 山形県警察本部調べ



「頭部」を守るために有効なのは、ヘルメットです!!

自転車用のヘルメットは、軽量で、デザインも様々あります。安全基準を満たしているものには、「SGマーク」が付いています。自分に合ったサイズのお気に入りのヘルメットを選び、正しく着用しましょう!



帽子タイプヘルメット



ヘルメットの正しいかぶり方をチェック

- 頭のサイズに合ったヘルメットを選びましょう
- 頭全体を保護できるように、水平にかぶりましょう
- あごひもは、口を大きく開けたときに引っ張られるくらいしっかりと締めましょう

